平成31年度青果物輸出促進緊急対策事業

分野・テーマ別の販売促進活動(3次公募)

セントライ青果株式会社

# ■概 要

販売促進期間	2019年11月1日~2020年1月31日
販促実施店舗 (香港)	1. アピタ太古
	2. ドンドン・ドンキ尖沙咀
販売品目	柿・いちご
目標金額	柿 12,000千円 いちご 5,000千円
数量	柿 44トン いちご 520Kg
活動内容・状況	7月に続き、今回も日本系の量販店であるアピタ、ドンドン・ドンキにて柿・いちごをメインとした販売促進活動を実施した。 糖度が高く品質の良い日本の柿は、甘いもの好きな香港では人気が高く、贈答用にも消費されている。いちごも近年輸出量が増えており、注目の品目である。 今回店頭で販売した柿「富有柿」「次郎柿」は、視察者の会社(MRT)にて名古屋で半脱気の1個包装にして輸出を行っている。これにより11月から2月まで販売期間を延ばすことが可能となる。いちごについては、暖冬の影響で各地出荷が遅れ、年末からの販売開始となった。 販促店では柿を中心に販売。やはり柿の人気が高く、生柿から干し柿まで良く売れていた。いちごも見た目が良く陳列方法もきれいに工夫されており、客の目を引いていた。 ・ 特は人気があるが、香港では軟化している物は嫌われる傾向があるので、そういった事情等を考慮しながら顧客へのアプローチを進めていきたい。しかしながら、いちごは暖冬の影響で傷みが多かったため、輸出量が想定を大きく下回る結果となった。

## 1. アピタ











- \*売り場を11月から2月まで大々的・長期的に展開し、拡販を行った。 \*生柿から干し柿までよく売れており、化粧箱も売れ行きは良かった。

#### 2. ドンドン・ドンキ









- \*香港での第二号店(視察期間中の12/12開店)。荃灣西駅に直結し、面積は尖沙咀にある第一号店の約2倍。
- \* 富有柿、市田柿を中心に販売。
- \* 客の入りが絶え間なくあり、集客度はとても良いが観光客については地域柄、デモの関係で減っている印象。

#### 3. Taste







- \* 視察
- \*パークンショップの高級店舗、ドンキ2号店と同じ建物内にある。日本産食材も並んでいる。
- \*現在香港内に200店舗以上

## 4. SOGO





- \* 視察 \* 日本食が多い・高級志向







#### 5. YATA











- \* 視察
  \*ローカルもあるが、日本の高級品まで品揃え
- \*現在香港内に13店舗

### 6. Wellcome







- \* 視察 \* 店舗数多い・ローカルから日本食材まで取り揃え \* 現在香港内に250店舗以上ある



## 7. 油麻地市場







\* 視察のみ \* 一般売りから 卸売まで幅広く 販売する屋外市場



